

2 月号



ほけんだより



発行日/令和8年1月30日

気温が低く、乾燥した日が続いています。2月4日は、暦の上では立春で、春を迎える時期とされていますが、一般的に1月下旬から2月にかけて最も寒くなると言われています。

感染症も流行る時期ですので、手洗いでだけでなく、寒くてもこまめに換気を行い、空気の入替えを心がけましょう。

ほけんの予定

2月19日(木) 発育測定
(0.1歳)

2月20日(金) 発育測定
(2歳以上)

1月の感染症報告

インフルエンザ
マイコプラズマ

食物アレルギーのあるお子様の書類提出について

食物アレルギーに関する除去食対応には、年に1回の生活管理指導書の提出が必要です。かかりつけを受診していただき、**2月27日(金)までの提出**をお願いいたします。新たに食物アレルギーと診断された場合は、園にお知らせください。

子どもの花粉症について

2月から4月にかけて花粉が多くなる時期です。花粉症は、おとなの病気と思われがちですが、子どもも、花粉症になります。花粉症の症状があっても熱がないなら大丈夫、と油断しがちですが、花粉症の症状が長く続くと、不快だけでなく、様々な問題をまねく恐れがあります。

花粉症三大症状



花粉を家に持ち込まないために

外干ししない

花粉が多く飛ぶシーズンは、洗濯物を外に干すのは控えましょう

玄関で脱ぐ

外から帰ったら、コート類は玄関で脱いでつるすなど、室内に花粉を持ち込まないようにしましょう

服からも取り除く

衣類をはたくと、花粉が舞い散って逆効果です。粘着テープなどで取り除く、花粉がつきにくいツルツルの素材の上着を選ぶなどがおすすめです

年長児

MRの追加接種をお願いします！

今年度内に6歳になる年長児は、MR(麻しん・風しん混合)ワクチンの2期追加接種の時期にあたります。

まだ接種していないお子さんは、小学校入学までにかかりつけの医療機関で接種を受けるようにしてください。

節分の豆の誤嚥にご注意を

2月3日は節分の日。豆まきは楽しい行事ですが、いり豆は窒息の原因となりやすい食べ物です。のどにつまらせたり、くだけた豆が気管に入り、誤嚥を生じることがあります。5歳頃までは食べさせないようにしましょう。



こんなものにも
ご注意ください
ピーナッツ
アーモンド

鼻水のおはなし

季節の変わり目やアレルギー反応などにより、子どもは鼻水が出やすくなります。**黄色や緑色の鼻水が出る場合は、細菌に感染している場合もあります。**また、呼吸が苦しく、睡眠に影響が出て来たり、蓄膿症や中耳炎などの病気になることもあります。症状がある場合は、早めの受診を心がけましょう。